

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 478 事業名 都市計画図管理事務

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	5	適正な土地利用の推進
施策	1	適正な土地利用の推進
基本方針	1	計画的な土地利用の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	平成 年度	～ 平成 年度
事業実施の根拠法令	都市計画法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	都市計画課	米澤 範和 (435-1228)
関連課		

【事業基本情報】

事業区分(1)	事業経費	管理経費	○
事業区分(2)	その他		
	自治事務	○	法定受託事務
会計・予算区分	その他		
	会計	一般会計	
	款	土木費	
	項	都市計画費	
	目	都市計画総務費	
大事業	都市計画総務事業		
事項	都市計画図管理事務		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	都市計画制限に係る地図等を適正に管理、作成する。	都市計画支援システム保守管理、国土基本図修正、都市計画図の製版作成等				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		国土基本図修正業務委託・都市計画図製版作成業務委託・都市計画支援システム保守管理業務委託・国土基本図販売	国土基本図修正業務委託・都市計画図製版作成業務委託・都市計画支援システム保守管理業務委託・国土基本図販売 都市計画総括図印刷(1/25000) 都市計画2014印刷製本	国土基本図修正業務委託・都市計画図製版作成業務委託・都市計画支援システム保守管理業務委託・国土基本図販売	国土基本図修正業務委託・都市計画図製版作成業務委託・都市計画支援システム保守管理業務委託・国土基本図販売	国土基本図修正業務委託・都市計画図製版作成業務委託・都市計画支援システム保守管理業務委託・国土基本図販売

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	7,942	7,795	8,399		8,399		8,399		8,399	
伸び率 (%)	-	-	5.8%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	15,104	15,255	16,307		16,307		16,307		16,307
	非常勤職員									
	小計	15,104	15,255	16,307		16,307		16,307		16,307
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	973	973	1,399		1,399		1,399		1,399	
一般財源(税等)	6,969	6,822	7,000		7,000		7,000		7,000	
所要人数	常勤職員	2.04	2.01	2.15		2.15		2.15		2.15
	非常勤職員									
主な予算内訳	都市計画図製版作成委託料 3,629千円、国土基本図修正業務委託料 2,123千円、印刷製本費 1,404千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	地図販売受付件数	年度目標値				-	-	-	-	-
		実績値				3,744				
	単位 件	全体目標値				-	-	-	-	-
		全体目標達成度				-	-	-	-	-
成果指標	地図販売枚数	年度目標値				-	-	-	-	-
		実績値				3,744				
	単位 枚	全体目標値				-	-	-	-	-
		全体目標達成度				-	-	-	-	-
証明書交付枚数	年度目標値				-	-	-	-	-	
	実績値				169					
単位 枚	全体目標値				-	-	-	-	-	
	全体目標達成度				-	-	-	-	-	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	当事業は、土地利用の根幹となす都市計画に関する情報を更新し、かつ事業者及び市民にその情報を提供していることから、現状のまま継続する。
「見直し」 「改善」案	国土基本図の修正時、航空写真の撮影を行っていたが、資産税課の航空写真を活用するよう改善したため、コストを下げることができた。